

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム報告書

氏名：西本 希呼	提出日：平成25 年2月28日
東南アジア研究所における職名： *右記の該当する職位に○をつけて下さい。(講師・助教・助手・ <input checked="" type="checkbox"/> ポストドク・博士課程学生・修士課程学生・学部学生)	
派遣先の研究機関等(調査を実施した国名・機関名(日本語で記載)及びカウンターパート名)： オランダ王立言語・地理・民族学研究所 (KITLV) *派遣先の研究機関等の種類について右記の該当する箇所に○をつけてください。(大学・研究機関・企業・その他)	
派遣先の研究機関等での職名：	
派遣期間： 平成 24年2月16日 ~ 平成24年2月26日 (派遣日数：10日)	
研究活動等の主な内容(該当する番号に○をつけてください。複数可) <input checked="" type="checkbox"/> ①研究・実験 <input type="checkbox"/> ②フィールドワーク <input type="checkbox"/> ③セミナー <input type="checkbox"/> ④インターンシップ <input type="checkbox"/> ⑤サマースクール等の講習 <input type="checkbox"/> ⑥学会出席 <input type="checkbox"/> ⑦単位取得等 <input type="checkbox"/> ⑧その他	
研究活動の主な領域(該当する番号に1つ○をつけて下さい。) <input checked="" type="checkbox"/> ①人文学 <input type="checkbox"/> ②社会科学 <input type="checkbox"/> ③数物系科学 <input type="checkbox"/> ④化学 <input type="checkbox"/> ⑤工学 <input type="checkbox"/> ⑥生物学 <input type="checkbox"/> ⑦農学 <input type="checkbox"/> ⑧医歯薬学 <input type="checkbox"/> ⑨総合領域 <input type="checkbox"/> ⑩複合新領域	
派遣の概要(500~700字程度) <p>ライデン大学は、アフリカ言語学、東南アジア地域研究、そして派遣者の研究分野であるオーストロネシア言語学の世界の先端的な学術機関の1つである。また、ライデン大学の付属図書館の東南アジアおよびオセアニア部門、オランダ王立言語・地理・民族学研究所 (KITLV)は、マダガスカル、ポリネシア、ラパヌイ(イースター島)をはじめとするオーストロネシア語族の諸言語およびそれらが話されている地域の文化・社会に関する文献を豊富に所蔵している。</p> <p>本派遣においては、主に、ポリネシアの歴史資料、マダガスカル語を含む東南アジア諸語研究の文献収集を行った。</p>	
事業に係る研究成果(500~700字程度) <p>オランダ王立言語・地理・民族学研究所 (KITLV)に1週間滞在し、仏領ポリネシアのオーストラル諸島に関する、考古学、歴史、言語関係の文献収集を行った。所属先研究所である東南アジア研究所では手に入らない多数の資料を閲覧することができ、有意義な渡航となった。</p> <p>また、ライデンの自然史博物館にて、派遣者の2011年からの新たな調査対象地域であるオセアニアの海洋地域に生息する魚介類、植物に関する文献および情報収集を行った。ライデンは、生命科学、社会科学、人文学などあらゆる分野の学術機関や、国立図書館、博物館があり、非常に恵まれた研究環境である。</p> <p>1週間という短期間の派遣であったが、王立図書館に毎日通い、現在執筆中の論文を進めた。王立図書館では、毎日研究に励むインドネシア人留学生・研究員の姿が見られ、東南アジア研究にとって王立図書館が重要な研究拠点であることがわかった。</p>	